

# 行政評価シート

事務事業名	市民との協働による地域づくり支援事業		事業開始年度	平成23年度	
担当部	総務部	担当課	秘書政策課	担当係	地方創生・新エネ推進係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(4) 特性を活かした地域づくりを進めます
施策 (手法)	① 個性あふれる地域づくりの推進
取組事項	I. 地域活動の支援

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	地域づくり団体等が実施するまちづくり活動に補助金を支出し、さらなる地域づくりの推進を目指す。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	地域づくり団体等が実施するまちづくり活動に補助金を支出した。
------	--------------------------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	新たな地域振興活動組織の設立			指標の単位	件
指標の説明	新たな地域振興活動組織の設立				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込み)
目標値		2	3	4	4
実績値		3	3	3	(4)
達成度(%)		150	100	75	
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込み)
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった				
【説明】	地域づくり団体として、NPO法人や一般社団法人が設立された。 平成30年度から事業内容を見直し、各地域の配分額を一部見直した。 補助金について、できる限り用途を制限しなくしているが、実施事業については、本来各種団体で支出すべき経費も見受けられた。				所管課評価  C

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
R1年度から、ソフト枠とハード枠に分け、ハード枠については庁内選定委員会で事業選定を行った。事業内容については、随時見直しを行うこととしており、今後も見直しを進めていく。	

# 行政評価シート

事務事業名	地域おこし協力隊及び集落支援員事業		事業開始年度	平成26年度	
担当部	総務部	担当課	秘書政策課	担当係	地方創生・新エネ推進係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(4) 特性を活かした地域づくりを進めます
施策 (手法)	① 個性あふれる地域づくりの推進
取組事項	I. 地域活動の支援

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	地域おこし協力隊及び集落支援員を配置し、地域・集落の活性化を図る。
-----------------	-----------------------------------

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	地域おこし協力隊及び集落支援員を配置した。
------	-----------------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	地域おこし協力隊員の定住者			指標の単位	人
指標の説明	地域おこし協力隊終了後の定住者数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込み)
目標値		2	2	4	4
実績値		2	2	1	(4)
達成度(%)		100	100	25	
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込み)
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	平成29年度に地域おこし協力隊員を満了した2名の隊員について、その後市内に定住した。 令和2年10月現在の配置状況 地域おこし協力隊 8名(さくらの郷1名、道の駅とうわ1名、二本松観光連盟1名、東和観光協会1名、岳温泉観光協会2名、和紙伝承館2名)				所管課評価  A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	拡大
地域おこし協力隊員及び集落支援員は、財源的にも特別交付税の算定対象となるため、今後、積極的に採用し、地域振興に役立てていく。	

# 行政評価シート

事務事業名	廃校の解体と跡地の活用(廃校舎等利活用事業)		事業開始年度	H22	
担当部	総務部	担当課	財政課	担当係	管財係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(4)特性を活かした地域づくりを進めます
施策 (手法)	①個性あふれる地域づくりの推進
取組事項	I. 地域活動の支援

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	廃校舎については、民間での活用を基本に売却・賃貸するが、老朽化等により、利活用希望ない場合は計画的に解体する。解体後の土地は賃貸・売却し民間での利活用に資する。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	旧建設技術学院の解体について検討した。
------	---------------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	解体する廃校舎の数			指標の単位	施設
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値		1	0	0	1
実績(見込)値		0.5	0.5	0	1
達成度(%)		50	100	0	100
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用なし				
【説明】	令和元年度は旧建設技術学院解体の検討を行った。令和2年度に解体設計及び工事を施工予定。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	今後も民間での利活用を基本に進めるが、施設の老朽化や耐震性の問題等も考慮しながら、各施設について個別に検討していくこととする。

# 行政評価シート

事務事業名	地方創生推進事業			事業開始年度	平成28年
担当部	総務部	担当課	秘書政策課	担当係	地方創生・新エネ推進係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(4) 特性を活かした地域づくりを進めます
施策 (手法)	① 個性あふれる地域づくりの推進
取組事項	I. 地域活動の支援

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	大学との連携協定や地方創生アドバイザー事業を行い、地方創生を推進する。
-----------------	-------------------------------------

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	亜細亜大学と連携協定を締結し、地方創生を推進した。
------	---------------------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	大学との連携協定数			指標の単位	件
指標の説明	二本松市と連携協定を締結した大学の数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込み)
目標値	1	2	2	2	2
実績値	1	2	2	2	2
達成度(%)	100	100	100	100	100
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込み)
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	亜細亜大学と連携協定を締結し、福島県のFターンシップ事業を活用して市内企業と学生のマッチング事業を行った。 亜細亜大学では毎年、二本松市内で災害救助論の合宿を行っている。				所管課評価  <b>B</b>

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
亜細亜大学と福島大学とは連携協定に基づき、各種事業を展開していく。  R2年度の地方創生推進事業(田舎の未来プロデューサー事業)では、福島大学をはじめ県内の高校・大学から事業に参加予定。	

# 行政評価シート

事務事業名	地域づくり推進事業			事業開始年度	—
担当部	総務部	担当課	秘書政策課	担当係	地方創生・新エネ推進係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(4) 特性を活かした地域づくりを進めます
施策 (手法)	① 個性あふれる地域づくりの推進
取組事項	I. 地域活動の支援

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	夏祭りや産業文化祭、ふるさと祭りに補助金を支出し、地域づくりを推進する。
-----------------	--------------------------------------

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	智恵子の里安達夏祭り実行委員会運営補助(500千円) いわしろ夏まつり実行委員会補助(500千円) 東和ふるさと祭り奨励事業補助(650千円) 岩代産業文化祭事業補助(600千円)
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	新たな地域振興活動組織の設立			指標の単位	件
指標の説明	新たな地域振興活動組織の設立				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込み)
目標値		2	3	4	4
実績値		3	3	3	(4)
達成度(%)		150	100	75	
指標名(2)				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込み)
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	進展が大きくない				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	地域づくり団体として、NPO法人や一般社団法人が設立された。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
今後、補助金の必要性、妥当性を見ながら、随時見直しをしていく。	

# 行政評価シート

事務事業名	国際友好都市交流事業			事業開始年度	平成17年
担当部	総務部	担当課	秘書政策課	担当係	総合政策係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(4) 特性を活かした地域づくりを進めます
施策 (手法)	① 個性あふれる地域づくりの推進
取組事項	Ⅲ. 国際交流・地域間交流の推進

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	友好都市であるハノーバー町のダートマス大学生受入れを行い、ホームステイを通じた市民との交際交流を図る。 ・JICA二本松とにほんまつ地球市民の会を支援しながら、市民の国際理解の推進を図る。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	ダートマス大学生受入れ事業 大学生20人 JICA激励 地球市民の会事業補助
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	国際交流事業参加者			指標の単位	人
指標の説明	年間に市内で開催される国際交流事業に参加した人数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	2,350	2,550	2,750	2,950	3,150
実績(見込)値	1,690	2,170	2,250	2,320	0
達成度(%)	72%	85%	82%	79%	0%
指標名②	「市民の翼」海外派遣者数			指標の単位	人
指標の説明	「市民の翼」事業で、海外へ派遣した市民の人数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	10	10	10	20	10
実績(見込)値	10	10	10	20	0
達成度(%)	100%	100%	100%	100%	0%
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	政治・経済・文化等のあらゆる面において国際感覚が求められており、より多くの市民に国際交流の機会を提供するうえで、有効な事業であり、年々参加者数が増加傾向にあるが、目標達成には至っていないため、事業内容の再検討が必要である。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
【説明】	事業の周知等も含め、広く市民が交流できる機会となるよう創意工夫を図っていく。また、民間レベルでの交流も視野に入れ事業を推進していく。

# 行政評価シート

事務事業名	姉妹都市交流事業			事業開始年度	未開始
担当部	総務部	担当課	秘書政策課	担当係	総合政策係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	2. 郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち
政策 (方策)	(4) 特性を活かした地域づくりを進めます
施策 (手法)	① 個性あふれる地域づくりの推進
取組事項	Ⅲ. 国際交流・地域間交流の推進

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	青年海外協力隊訓練所のある町として友好都市を締結した駒ヶ根市に市民を派遣し、市民レベルでの交流を図る。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	駒ヶ根市市民訪問団事業(訪問団35名+当局5名) 2泊3日天竜河童祭り8月下旬 駒ヶ根市訪問団受け入れ(訪問団40名)
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	駒ヶ根市市民訪問団参加者			指標の単位	人
指標の説明	友好都市である駒ヶ根市へ二本松市民が訪問する事業の参加者数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					40
実績(見込)値					0
達成度(%)					0%
指標名②	駒ヶ根市訪問団受け入れ者			指標の単位	人
指標の説明	友好都市である駒ヶ根市から、二本松市へ駒ヶ根市民が訪問する事業の参加者数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					40
実績(見込)値					0
達成度(%)					0%
【目標に対する進捗状況】					
【費用対効果】	費用なし				
【説明】	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業中止した。				所管課評価
					—

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	休止
【説明】	5年後に、友好都市提携25周年を迎えるため、周年事業として再度検討する。